



# 395

## ロングリーチ油圧ショベル

# 技術仕様

コンフィギュレーションおよび機能は地域により異なります。利用可能かどうかは、地域のCat®ディーラにお問い合わせください。

## 目次

### 395ロングリーチ油圧ショベル特殊コンフィギュレーション

仕様.....	2	騒音性能.....	3
エンジン.....	2	エアコンシステム.....	3
旋回機構.....	2	運転質量および接地圧.....	4
質量.....	2	主要コンポーネント質量.....	4
トラック.....	2	寸法.....	5
駆動系.....	2	作業範囲.....	7
油圧システム.....	2		
整備交換時の容量.....	3	標準およびオプション装備品.....	8
規格.....	3	ディーラ装着のキットおよびアタッチメント.....	10
		キャブオプション.....	11
		395 LREの環境に関する宣言.....	12

# 395 LRE油圧ショベルの仕様

## エンジン

エンジンモデル	Cat® C18	
定格出力(ネット)		
ISO 9249	404 kW	542 hp
ISO 9249 (DIN)	550 hp(メートル)	
エンジン出力		
ISO 14396	405 kW	543 hp
ISO 14396 (DIN)	551 hp(メートル)	
内径	145 mm	6 in
行程	183 mm	7 in
総行程容積(排気量)	18.1 L	1,105 in <sup>3</sup>
バイオディーゼル対応	B20まで <sup>(1)</sup>	

- 米国EPA Tier 4 Final, EU Stage V, 日本オフロード法2014年基準、韓国Stage Vの各排出ガス基準に適合しています。
- 標高4,500 m (14,764 ft) まで運転可能。ただし、標高3,000 m (9,842.5 ft) を超えるとエンジン出力は低下します。
- 公称出力は、製造時点で有効な指定規格の下で試験した場合の値です。
- 表示されている定格出力(ネット)は、エンジンにファン、エアインテイクシステム、排気システム、およびオルタネータを装備している場合に、フライホイール部で得られる出力です。
- 定格回転数1,900 rpm

<sup>(1)</sup> CATディーゼルエンジンでは、ULSD(硫黄含有量が15 ppm以下の超低硫黄ディーゼル燃料)か、下記を上限とするより低い炭素強度燃料を混合したULSD\*\*相当の燃料\*を使用する必要があります。

- ✓ 20%のバイオディーゼルFAME(脂肪酸メチルエステル)\*\*\*
- ✓ 最大100%の再生可能ディーゼル、HVO(Hydrogenated Vegetable Oil、水添植物油)、およびGTL(Gas-To-Liquid、ガス液化)燃料

適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Catディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar推奨の機械油水類』(SEBU6250)を参照してください。

\* CATのエンジンには、上記の代替燃料を使用できますが、規制により使用が認められない場合があります。

\*\* 低炭素強度燃料使用時にテールパイプから生じる温室効果ガス排出は、基本的に従来の燃料と同じです。

\*\*\* 後処理装置のないエンジンには、より高い混合率(最大100%)のバイオディーゼルを使用できます(混合率が20%を超えるバイオディーゼルの使用については、最寄りのCatディーラにお問い合わせください)。

## 旋回機構

最大旋回トルク	363 kN·m	267,730 lbf·ft
---------	----------	----------------

## 質量

運転質量	102,000 kg	224,900 lb
------	------------	------------

- フレームエクステンション付きロングアンダキャリッジ、12.5 m (41 ft 0 in) LREブーム、LRE 9.5m (31 ft 2 in) アーム、HD 2.6 m<sup>3</sup> (3.4 yd<sup>3</sup>) バケット、900 mm (35 in) ダブルグローサシュー、および15.4 mt (34,060 lb) カウンタウエイト。
- フレームエクステンション付きロングアンダキャリッジ、15.5 m (50 ft 10 in) LREブーム、LRE 11.8m (38 ft 9 in) アーム、ヘビーデューティ(HD) 1.97 m<sup>3</sup> (2.58 yd<sup>3</sup>) バケット、900 mm (35 in) ダブルグローサシュー、および21.6 mt (47,600 lb) カウンタウエイト。

## トラック

標準トラックシュー幅	900 mm	35 in
オプショントラックシュー幅	650 mm	26 in
オプショントラックシュー幅	750 mm	30 in
シューの数(片側)	51	
トラックローラの数(片側)	9	
キャリアローラの数(片側)	3	

## 駆動系

登坂能力	30°/58 %	
最高走行速度	4.5 km/h	2.8 mph
最大牽引力	580 kN	130,389 lbf

## 油圧システム

メインシステム – 最大流量(作業時)	1,064 L/min (532 × 2ポンプ)	281 gal/min (141 × 2ポンプ)
スイングシステム – 最大流量	295 L/min	78 gal/min
最大圧力 – 装置 – 作業装置	37,000 kPa	5,366 psi
最大圧力 – 走行時	35,000 kPa	5,076 psi
最大圧力 – 旋回時	31,000 kPa	4,496 psi
ブームシリンダ – 内径	210 mm	8 in
ブームシリンダ – 行程	1,967 mm	77 in
スティックシリンダ – 内径	220 mm	8.7 in
スティックシリンダ – 行程	2,262 mm	89 in
バケットシリンダ – 内径	150 mm	6 in
バケットシリンダ – 行程	1,151 mm	45 in
CB2バケットシリンダ – 内径	135 mm	5 in
CB2バケットシリンダ – 行程	1,156 mm	46 in

## 整備交換時の容量

燃料タンク容量	1,220 L	322.3 gal
冷却系統	71 L	18.8 gal
エンジンオイル(フィルタ付き)	67 L	17.7 gal
旋回ドライブ(各ドライブ)	24 L	6.3 gal
ファイナルドライブ(片側)	20 L	5.3 gal
作動油(全量)	793 L	209.5 gal
作動油タンク(サクシオンパイプなど)	372 L	98.2 gal
尿素水タンク	80 L	21.1 gal

## 規格

ブレーキ	ISO 10265: 2008
オペレータ保護ガード(OPG) (オプション)	ISO 10262:1998 Level II

## 騒音性能

ISO 6395:2008 (外部)	109 dB (A)
ISO 6396:2008 (内部)	73 dB (A)

- 外部音響 – 外部音響出力レベルは、適切に装備および保守されたCAT製機械に対してISO 6395:2008で指定されたテスト手順および条件に従って測定されます。この測定は、エンジン冷却ファン速度を最高回転数の70%にして実施されたものです。
- 内部騒音 – オペレータ音圧レベルは、Caterpillarが提供したキャブを適正に取り付け、維持管理し、ドアおよびウィンドウを閉めた状態で、ISO 6396:2008に規定される試験の手順と条件に従って測定されています。この測定は、エンジン冷却ファン速度を最高回転数の70%にして実施されたものです。
- 開放型の運転室やキャブ(ドア/ウィンドウが開いた状態で適切にメンテナンスされていない場合)で、長時間作業を行うときや騒音の激しい環境では、聴力保護具が必要になる場合があります。

## エアコンシステム

- 当機のエアコンシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒R134aまたはR1234yfを使用。ガスの識別についてはラベルまたは取扱説明書を参照してください。
  - R134a (地球温暖化係数=1,430) 使用システムには、1.3 kg (2.9 lb) の冷媒が含まれています。これはCO<sub>2</sub>換算で1.859メートルトン(2.049トン)に相当します。
  - R1234yf (地球温暖化係数=0.501) 使用システムには、1.1 kg (2.4 lb) の冷媒が含まれています。これはCO<sub>2</sub>換算で0.001メートルトン(0.001トン)に相当します。

# 395 LRE油圧ショベルの仕様

## 運転質量および接地圧

	650 mm (26 in) ダブルグローサシュー		750 mm (30 in) ダブルグローサシュー		900 mm (35 in) ダブルグローサシュー	
	質量	接地圧	質量	接地圧	質量	接地圧
	kg (lb)	kPa (psi)	kg (lb)	kPa (psi)	kg (lb)	kPa (psi)
<b>21.6 mt (47,600 lb) カウンタウエイト + フレームエクステンション付きロングアンダキャリッジ搭載ベース機械</b>						
15.5 m (50 ft 10 in) LREブーム + 11.8 m (38 ft 9 in) LREアーム + 1.97 m³ (2.58 yd³) HDバケット	111,300 (245,400)	151.2 (21.9)	112,200 (247,400)	132.1 (19.2)	113,300 (249,700)	111.1 (16.1)
<b>15.4 mt (34,060 lb) カウンタウエイト + フレームエクステンション付きロングアンダキャリッジ搭載ベース機械</b>						
12.5 m (41 ft 0 in) LREブーム + 9.5 m (31 ft 2 in) LREアーム + 2.60 m³ (3.40 yd³) HDバケット	100,100 (220,700)	138.6 (20.1)	101,000 (222,700)	121.2 (17.6)	102,000 (224,900)	102.0 14 ft 8 in

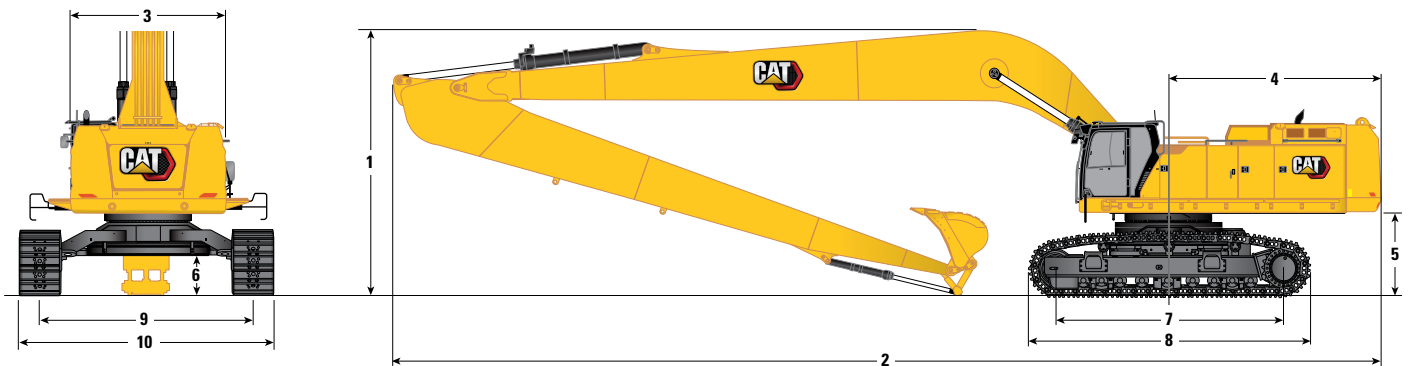
すべての運転質量には、90%燃料タンクの質量と75 kg (165 lb) のオペレータの体重が含まれます。

## 主要コンポーネント質量

	kg	lb
ベース機械質量 (スイングフレーム、ロングアンダキャリッジ、カウンタウエイト、ブームシリンダを含む。ブーム、アーム、バケット、スティックシリンダ、バケットシリンダ、トラック、燃料タンク、オペレータを含まない)		
15.4 mt (34,060 lb) カウンタウエイト、スイングフレーム、ベースフレーム (トラックローラとキャリアローラを含む)	70,970	156,460
カウンタウエイト、スイングフレーム、ベースフレーム (トラックローラとキャリアローラを含む) 装着	76,970	169,700
トラックシュー:		
幅650 mm (26 in)、厚さ20.5 mm (0.8 in) のダブルグローサトラックシュー	9,290	20,470
幅750 mm (30 in)、厚さ20.5 mm (0.8 in) のダブルグローサトラックシュー	10,160	22,400
幅900 mm (35 in)、厚さ20.5 mm (0.8 in) のダブルグローサトラックシュー	11,220	24,740
ブームシリンダ (2本)	1,820	4,010
90%燃料タンクの質量および75 kg (165 lb) のオペレータの体重	1,010	2,230
カウンタウエイト:		
15.4 mt (34,060 lb) カウンタウエイト	15,450	34,060
21.6 mt (47,600 lb) カウンタウエイト	21,600	47,620
スイングフレーム:		
スイングフレーム	9,100	20,060
ロングアンダキャリッジ		
トラックローラおよびキャリアローラ付きのベースフレーム	32,740	72,180
ブーム (ライン、ピン、スティックシリンダを含む):		
12.5 m (41 ft 0 in) LREブーム	11,300	24,910
15.5 m (50 ft 10 in) LREブーム	14,510	31,990
アーム (ライン、ピン、バケットシリンダ、バケットリンケージを含む):		
9.5 m (31 ft 2 in) LREアーム	5,660	12,480
11.8 m (38 ft 9 in) LREアーム	5,930	13,070
バケット (リンケージなし):		
1.97 m³ (2.58 yd³) HD	1,290	2,850
2.60 m³ (3.40 yd³) HD	1,990	4,400
フレームエクステンション	8,120	17,910

## 寸法

すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



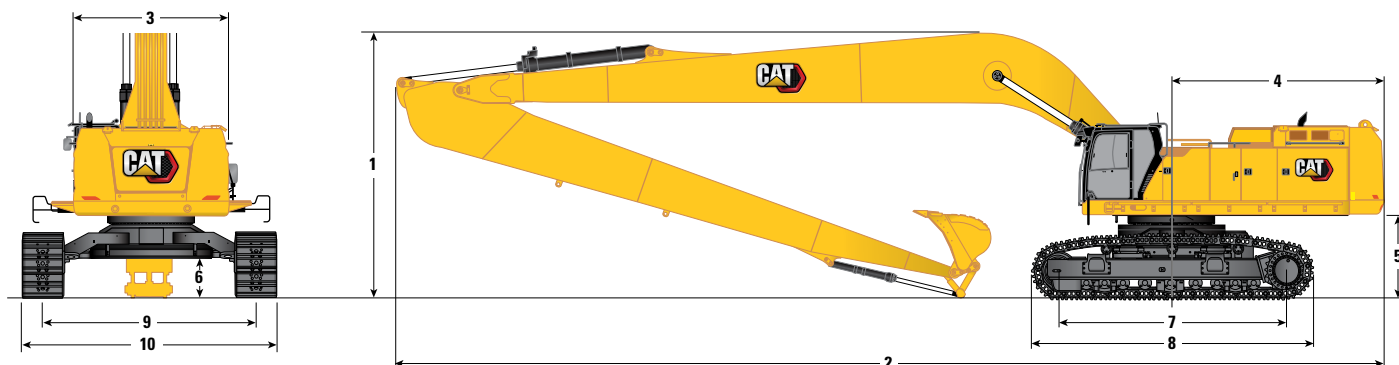
ブームオプション	LREブーム		LREブーム	
	12.5 m (41 ft 0 in)		15.5 m (50 ft 10 in)	
アームオプション	LREアーム		LREアーム	
	9.5 m (31 ft 2 in)		11.8 m (38 ft 9 in)	
<b>1 車両の高さ:</b>				
キャブ高さ	3,910 mm	12 ft 10 in	3,910 mm	12 ft 10 in
OPG高さ	4,050 mm	13 ft 4 in	4,050 mm	13 ft 4 in
ハンドレール部高さ	3,990 mm	13 ft 1 in	3,990 mm	13 ft 1 in
ブーム/アーム/バケット装着	8,476 mm	27 ft 10 in	11,860 mm	38 ft 11 in
ブーム/アーム装着	8,476 mm	27 ft 10 in	11,860 mm	38 ft 11 in
ブーム/アーム/バケット装着 (共用配管を含む)	8,476 mm	27 ft 10 in	11,860 mm	38 ft 11 in
ブーム/アーム装着 (共用配管を含む)	8,476 mm	27 ft 10 in	11,860 mm	38 ft 11 in
<b>2 車両長さ:</b>				
ブーム/アーム/バケット装着	17,930 mm	58 ft 10 in	19,900 mm	65 ft 3 in
ブーム/アーム装着	17,930 mm	58 ft 10 in	19,900 mm	65 ft 3 in
ブーム/アーム/バケット装着 (共用 配管を含む)	17,930 mm	58 ft 10 in	19,900 mm	65 ft 3 in
ブーム/アーム装着 (共用配管を含む)	17,930 mm	58 ft 10 in	19,900 mm	65 ft 3 in
<b>3 上部フレーム幅</b>				
通路なし	3,490 mm	11 ft 5 in	3,490 mm	11 ft 5 in
通路あり	4,510 mm	14 ft 10 in	4,510 mm	14 ft 10 in
通路幅	500 mm	1 ft 8 in	500 mm	1 ft 8 in
<b>4 後端旋回半径</b>				
	4,840 mm	15 ft 11 in	4,840 mm	15 ft 11 in
<b>5 カウンタウエイト下端高さ</b>				
	1,880 mm	6 ft 2 in	1,880 mm	6 ft 2 in
バケットタイプ	HD		HD	
バケット容量	2.60 m <sup>3</sup>	3.40 yd <sup>3</sup>	1.97 m <sup>3</sup>	2.58 yd <sup>3</sup>
バケットチップの半径	1,837 mm	6 ft 0 in	1,659 mm	5 ft 5 in

(次ページに続く)

# 395 LRE油圧ショベルの仕様

## 寸法 (続き)

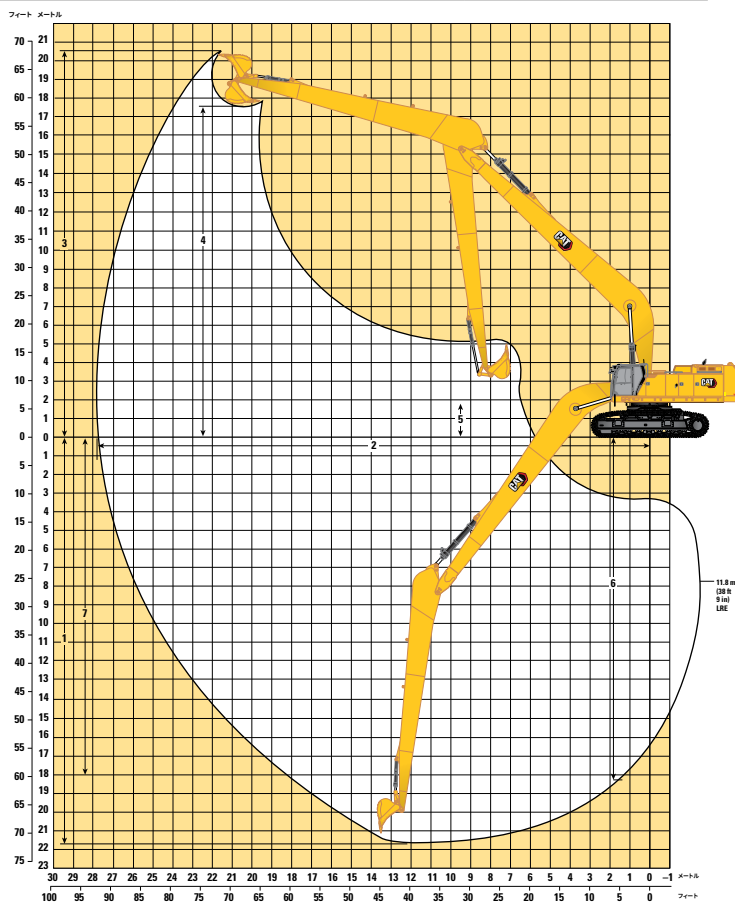
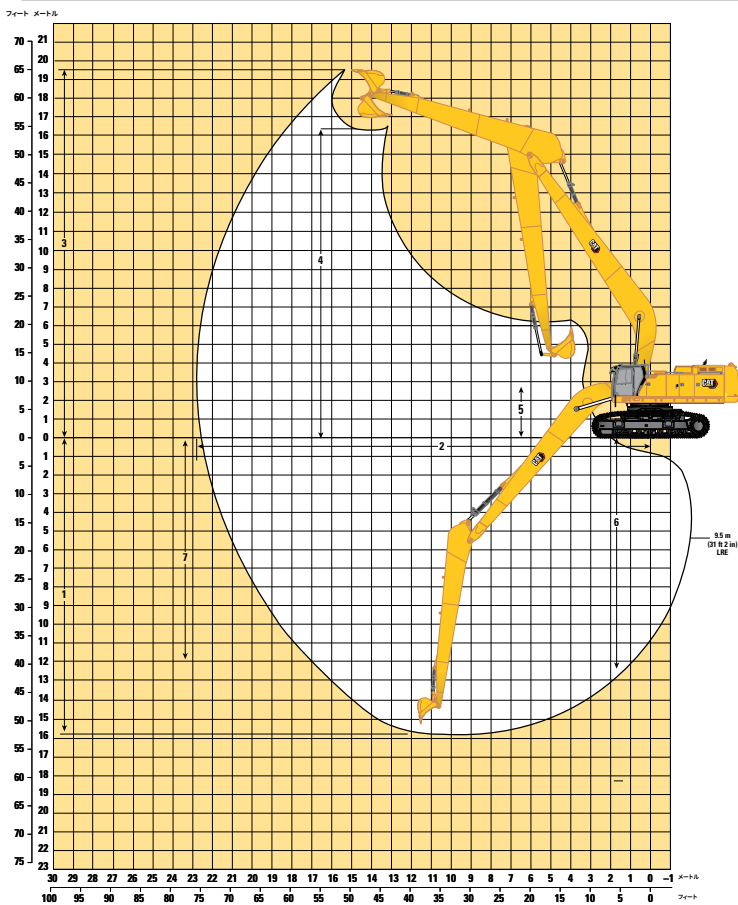
すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



ブームオプション	LREブーム		LREブーム	
	12.5 m (41 ft 0 in)		15.5 m (50 ft 10 in)	
アームオプション	LREアーム		LREアーム	
	9.5 m (31 ft 2 in)		11.8 m (38 ft 9 in)	
6 最低地上高	915 mm	3 ft 0 in	915 mm	3 ft 0 in
7 タンブラ中心距離	5,120 mm	16 ft 10 in	5,120 mm	16 ft 10 in
8 トラック全長	6,350 mm	20 ft 10 in	6,350 mm	20 ft 10 in
9 クローラ中心距離 (フレーム エクステンションを含む)	4,840 mm	15 ft 11 in	4,840 mm	15 ft 11 in
トラック幅 (フレーム エクステンションを含む)				
650 mm (26 in) シュー	5,490 mm	18 ft 0 in	5,490 mm	18 ft 0 in
750 mm (30 in) シュー	5,590 mm	18 ft 4 in	5,590 mm	18 ft 4 in
900 mm (35 in) シュー	5,740 mm	18 ft 10 in	5,740 mm	18 ft 10 in
10 足回り幅 (ステップ含む) (フレーム エクステンションを含む):				
650 mm (26 in) シュー	5,780 mm	19 ft 0 in	5,780 mm	19 ft 0 in
750 mm (30 in) シュー	5,780 mm	19 ft 0 in	5,780 mm	19 ft 0 in
900 mm (35 in) シュー	5,780 mm	19 ft 0 in	5,780 mm	19 ft 0 in
バケットタイプ	HD		HD	
バケット容量	2.60 m <sup>3</sup>	3.40 yd <sup>3</sup>	1.97 m <sup>3</sup>	2.58 yd <sup>3</sup>
バケットチップの半径	1,837 mm	6 ft 0 in	1,659 mm	5 ft 5 in

## 作業範囲

すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



### ブームオプション

LREブーム  
12.5 m (41 ft 0 in)

LREブーム  
15.5 m (50 ft 10 in)

### アームオプション

LREアーム  
9.5 m (31 ft 2 in)

LREアーム  
11.8 m (38 ft 9 in)

1 最大掘削深さ	15,770 mm	51 ft 9 in	21,700 mm	71 ft 2 in
2 最大床面掘削半径	22,610 mm	74 ft 2 in	27,820 mm	91 ft 3 in
3 最大掘削高さ	19,470 mm	63 ft 11 in	20,530 mm	67 ft 4 in
4 最大ダンプ高さ	16,200 mm	53 ft 2 in	17,580 mm	57 ft 8 in
5 最小ダンプ高さ	2,810 mm	9 ft 3 in	1,980 mm	6 ft 6 in
6 2,440 mm (8 ft) のレベルボトムでの最大掘削深さ	15,700 mm	51 ft 6 in	21,640 mm	71 ft 0 in
7 最大垂直掘削深さ	11,930 mm	39 ft 2 in	18,290 mm	60 ft 0 in
バケット掘削力 (ISO)	215 kN	48,290 lbf	190 kN	42,600 lbf
アーム掘削力 (ISO)	172 kN	38,580 lbf	144 kN	32,310 lbf
バケットタイプ	HD		HD	
バケット容量	2.60 m <sup>3</sup>	3.40 yd <sup>3</sup>	1.97 m <sup>3</sup>	2.58 yd <sup>3</sup>
バケットチップの半径	1,837 mm	6 ft 0 in	1,659 mm	5 ft 5 in

# 395 LRE標準およびオプション装備品

## 標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat®ディーラにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
<b>ブーム、アーム、リンケージ</b>			<b>油圧システム</b>		
12.5 m (41 ft 0 in) LREブーム		✓	ブームおよびスティックの再生回路	✓	
15.5 m (50 ft 10 in) LREブーム		✓	電子式メインコントロールバルブ	✓	
9.5 m (31 ft 2 in) LREアーム		✓	専用の閉ループスイングサーキット	✓	
11.8 m (38 ft 9 in) LREアーム		✓	自動作動油加温機能	✓	
CB2リンケージ (リフティングアイなし)	✓		オートマチックスイングパーキングブレーキ	✓	
海底作業用リンケージおよびアーム センサ保護	✓		反転防止バルブ	✓	
<b>CAT®テクノロジー</b>			高性能作動油リターンフィルタ	✓	
<b>CAT機械管理</b>			2速走行	✓	
- VisionLink™	✓ <sup>1</sup>		生分解性作動油に対応	✓	
- リモートフラッシュ	✓		高度なツールコントロール		✓
- リモートトラブルシュート	✓		中圧補助サーキット		✓
- ワークツール識別および追跡機能 (PL161)	✓		クイックカブラ回路		✓
<b>CAT GRADE:</b>			油圧効率モニタリング		✓
- CAT GRADE with 2D	✓				
<b>CAT PAYLOAD:</b>					
- 作業中の計量	✓				
- 半自動キャリブレーション	✓				
- 積載質量/サイクル情報	✓				
<b>電気系統</b>					
メンテナンスフリー1,400 CCAバッテリー (2個)	✓				
集中配置された電気系統ディスコネクトスイッチ	✓				
シャーシライト	✓				
LEDブームおよびキャブライト		✓			
1,800 lm LEDプレミアム周辺照明		✓			
<b>エンジン</b>					
冷間始動用ブロックヒータ		✓			
選択可能な3つのモード: パワー、スマート、エコ	✓				
オートマチックエンジンスピードコントロール	✓				
標高4,500 m (14,760 ft) まで稼働可能	✓				
52 °C (126 °F) の高い周囲温度にも対応する 冷却機能	✓				
-18 °C (-0.4 °F) の環境における冷間始動機能	✓				
寒冷時始動機能 (-32 °C (-25 °F) まで)		✓			
油圧リバースファン	✓				
プレクリーナー内蔵の2重エレメントエアフィルタ	✓				
3つの垂直サイドバイサイド冷却系統	✓				
リモートでの無効化	✓				
95 Aオルタネータ	✓				

(次ページに続く)

<sup>1</sup>状態、メンテナンスインサイト、状態モニタリングを管理するために、中核となるテレマティクスデータを提供します。より包括的なデータレポートに対応したその他のプランも用意しています。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

## 標準およびオプション装備品 (続き)

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
<b>安全とセキュリティ</b>			<b>整備とメンテナンス</b>		
Caterpillarワンキーセキュリティシステム	✓		統合車両状態管理システム	✓	
2D eフェンス:	✓		自動潤滑システム対応	✓	
- eシーリング			リバーシブル冷却ファン	✓	
- eフロア			エンジンオイルフィルタおよび燃料フィルタをまとめて配置	✓	
- eスイング			高速充填燃料系統		✓
- eウォール			S・O・S <sup>SM</sup> ポート	✓	
- eキャブ干渉防止			QuickEvac <sup>TM</sup> メンテナンス対応		✓
ロック式外部ツールボックス/ストレージボックス	✓		電気式給油ポンプ (自動シャットオフ付き)		✓
ロック式ドア (燃料タンクおよび作動油タンクのロック)	✓		<b>足回りと構造</b>		
ロック式燃料ドレーンコンパートメント	✓		ロングアンダキャリッジ	✓	
ロック式ディスコネクトスイッチ	✓		650 mm (26 in) ダブルグローストラックシュー		✓
滑り止めプレート付きサービスプラットフォーム	✓		750 mm (30 in) ダブルグローストラックシュー		✓
プラットフォーム上のフルハンドレールマウント	✓		900 mm (35 in) ダブルグローストラックシュー		✓
ミラーパッケージ	✓		グリース潤滑済みトラック	✓	
信号/警告ホーン	✓		セグメントド3分割式トラックガイディングガード		✓
トラベルアラーム	✓		2ピース全長トラックガイディングガード		✓
旋回アラーム		✓	スイベルガード	✓	
グラウンドレベルセカンダリエンジンシャットオフスイッチ	✓		強化型ボトムガード	✓	
リアビューカメラと右側のサイドビューカメラ	✓		強化型走行モーターガード	✓	
360°ビューシステム		✓	15.4 mt (34,060 lb) カウンタウエイト		✓
ブーム降下防止弁		✓	21.6 mt (47,600 lb) カウンタウエイト		✓
アーム降下防止弁		✓	ベースフレーム上のけん引用アイ	✓	
通路	✓		LREトラックエクステンションフレーム	✓	
チルトアップ通路		✓			
点検用照明		✓			
CAT Command (リモートコントロール)		✓			

## ディーラ装着のキットおよびアタッチメント

アタッチメントはこれと異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

### キャブ

- ラジアル下部ワイパ(デラックスキャブのみ)
- パラレルワイパキット(デラックスキャブのみ)
- 水平スライダ付きジョイスティック
- ツールコントロールのための左/右電気ペダル
- デュアルエグジットリアウインドウキット
- キャブフロントウインドウラミネート加工ガラス(P5Aガラス、EU解体規制)

### 安全とセキュリティ

- Bluetooth®キー FOB
- 幅76 mm (3") の巻取り式シートベルト
- CAT Detect – 作業員検出機能
- CAT Command – リモートコントロールキット

### ガード

- OPG (落下物保護システム) (キャブライトカバー、レインプロテクタには非対応)
- キャブフロントフルガード(メッシュタイプ) (キャブライトカバー、レインプロテクタには非対応)
- メッシュガード下半分フロント
- キャブフロントウインドウ用レインプロテクタおよびキャブライトカバー

### その他のアタッチメント

- 全地球的航法衛星システム (GNSS) アンテナ
- 海底作業用キット

## キャブオプション

	デラックス	プレミアム
ビスカスマウント付き防音キャブ	●	●
オペレータ保護ガード(OPG)	○	○
高解像度254 mm (10 in) LCDタッチスクリーンモニター	●	●
CAT Grade 2Dおよび3D用の高解像度LCDタッチスクリーンモニターの追加	○	○
自動バイレベルエアコン	●	●
モニター操作用ジョグダイヤルおよびショートカットキー	●	●
キーレスプッシュスタート式のエンジン制御	●	●
高さ調整可能なコンソール(工具なしで無段階に調整)	●	●
チルトアップ式左側コンソール	●	●
CATアームステア	○	○
補助リレー	○	○
エア調節式サスペンション装備、ヒータ付きシート	●	X
自動調整サスペンション、ヒータ、クーラ装備のシート	X	●
51 mm (2") オレンジシートベルト	●	●
Bluetooth内蔵ラジオ(USB、補助ポート、およびマイク付き)	●	●
12 V DCコンセント × 2	●	●
カップホルダおよび収納スペース	●	●
固定式一体型キャブフロントウィンドウ	X	○
開閉可能な2分割式フロントウィンドウ	●	○
ウォッシャ付きラジアルワイパ(上部)	●	X
パラレルワイパ(ウォッシャ付き)	X	●
開閉可能なポリカーボネート製スカイライトハッチ	●	○
固定ガラスラミネートスカイライト	X	○
LED車内灯	●	●
フロアウェルカムライト	●	●
ローラ式フロントサンスクリーン	●	●
ローラ式リアサンスクリーン	○	●
リアウィンドウの緊急用避難口	●	●
フロアマット(水洗い可)	●	●
ビーコン対応	●	●

- 標準
- オプション
- X なし

# 395 LREの環境に関する宣言

次の情報は、本書の対象となっている地域で販売するために構成された、最終製造時の機械に適用されます。この宣言の内容は発効日時点で有効ですが、機械の機能および仕様に関連した内容は予告なしに変更されることがあります。詳細については、機械の取扱説明書を参照してください。

サステナビリティの実例および当社の進捗状況については、<https://www.caterpillar.com/en/company/sustainability>をご覧ください。

## エンジン

- CAT® C18エンジンは、米国EPA Tier 4 Final、EUステージVおよび日本2014年排出ガス基準に適合しています。
- アフタートリートメントシステム付きCATディーゼルエンジンでは、ULSD (硫黄含有量が15 ppm以下の超低硫黄ディーゼル燃料) または次を上限として、低炭素強度燃料\*\*を混合したULSDを使用\*する必要があります。

- ✓ 20%のバイオディーゼルFAME (脂肪酸メチルエステル)\*\*\*
- ✓ 100%の再生可能ディーゼル、HVO (水素化植物油)、およびGTL (ガス液化) 燃料

適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Catディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar推奨の機械油種類』(SEBU6250)を参照してください。

\* CATのエンジンには、上記の代替燃料を使用できますが、規制により使用が認められない場合があります。

\*\* 低炭素強度燃料使用時にテールパイプから生じる温室効果ガス排出は、基本的に従来の燃料と同じです。

\*\*\* 後処理装置のないエンジンには、より高い混合率(最大100%)のバイオディーゼルを使用できます(混合率が20%を超えるバイオディーゼルの使用については、最寄りのCatディーラにお問い合わせください)。

## エアコンシステム

- 当機のエアコンシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒R134aまたはR1,234yfを使用。ガスの識別についてはラベルまたは取扱説明書を参照してください。
  - R134a (地球温暖化係数=1.430) 使用システムには、1.3 kg (2.9 lb) の冷媒が含まれています。これはCO<sub>2</sub>換算で1.859メートルトン(2.049トン)に相当します。
  - R1,234yf (地球温暖化係数=0.501) 使用システムには、1.1 kg (2.4 lb) の冷媒が含まれています。これはCO<sub>2</sub>換算で0.001メートルトン(0.001トン)に相当します。

## 塗料

- 把握できる限りの情報に基づく、次の重金属の塗装内の最大許容濃度(ppm単位)は次のとおりです。
  - バリウム < 0.01%
  - カドミウム < 0.01%
  - クロム < 0.01%
  - 鉛 < 0.01%

## 騒音性能

ISO 6395:2008 (外部) – 109 dB (A)

ISO 6396:2008 (内部) – 73 dB (A)

- 外部音響 – 外部音響出力レベルは、適切に装備および保守されたCAT製機械に対してISO 6395:2008で指定されたテスト手順および条件に従って測定されます。この測定は、エンジン冷却ファン速度を最高回転数の70%にして実施されたものです。
- 内部騒音 – オペレータ音圧レベルは、Caterpillarが提供したキャブを適正に取り付け、維持管理し、ドアおよびウィンドウを閉めた状態で、ISO 6396:2008に規定される試験の手順と条件に従って測定されています。この測定は、エンジン冷却ファン速度を最高回転数の70%にして実施されたものです。
- 開放型の運転室やキャブ(ドア/ウィンドウが開いた状態で適切にメンテナンスされていない場合)で、長時間作業を行うときや騒音の激しい環境では、聴力保護具が必要になる場合があります。

## 油種類

- 工場出荷時には、エチレングリコール冷却水が充填されています。CATディーゼルエンジン不凍液/クーラント (DEAC, Diesel Engine Antifreeze/Coolant) およびCATエクステンデッドライフクーラント (ELC, Extended Life Coolant) は、リサイクルできます。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。
- CAT Bio HYDO™ Advancedは、EU Ecolabel認証済みの生分解性作動油です。
- その他の油種類も存在する可能性があります。詳細な推奨油種類およびメンテナンス間隔については、取扱説明書または用途および設置ガイドを参照してください。

## 機能およびテクノロジー

- 次の機能およびテクノロジーは、燃料の節約および二酸化炭素排出量の削減に貢献する可能性があります。機能は異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。
  - 先進の油圧システムが出力と効率のバランスを維持
  - スマートモードは、機械のパワーを掘削要件に自動的に一致させます。
  - エコモードは、軽度の用途の場合に燃料消費を最小限に抑えます。
  - ワンタッチローアイドル (オートマチックエンジンスピードコントロール付き)
  - メンテナンス間隔の延長により、油種類とフィルタの消費量を削減

## リサイクル

- 機械に含まれる材質の分類と概算の質量割合を以下に示します。製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

材質タイプ	質量割合
鋼製	89.46%
鉄	5.97%
非鉄金属	1.26%
合金	0.08%
金属および非金属混合物	0.74%
プラスチック	0.11%
ゴム	0.35%
非金属混合物	0.24%
油種類	1.27%
その他	0.52%
未分類	0.00%
合計	100%

- リサイクル可能率の高い車両により、貴重な天然資源をさらに効率的に使用でき、耐用年数に到達した製品の価値が高まります。ISO 16714:2008 (土木建設機械類 – リサイクル可能率および回収可能率 – 用語および計算方法) によれば、リサイクル可能率は新品の車両のリサイクル、再利用、またはその両方が可能な重量による割合(パーセント単位の重量分率)として定義されます。

部品表のすべての部品は、まずISO 16714:2008および日本CEMA (Construction Equipment Manufacturers Association、日本建設機械工業会)の基準により定義されているコンポーネントの一覧に基づくコンポーネントタイプにより評価されます。さらに、残りの部品のリサイクル可能率が材質タイプに基づいて評価されます。

製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

リサイクル可能率 – 98%



オフロード法2014年  
基準適合



国土交通省  
超低騒音型建設機械

CAT製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Webサイト ([www.cat.com](http://www.cat.com)) をご覧ください。

AJXQ4640-00 (02-2026)  
ビルド番号: 07H  
(Japan)

© 2026 Caterpillar  
All rights reserved

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプション装備品が装着されていることがあります。利用可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、VisionLink、それらの各ロゴ、“Caterpillar Corporate Yellow”、“Power Edge”およびCAT “Modern Hex”のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン未満の建設機械の運転には事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。労働安全衛生法に基づき機体質量3トン以上の「車両系建設機械（整地・運搬・積込・掘削用）および（解体用）の運転」には登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

